

高砂市における若者のひきこもりの現状と課題について

1 「ひきこもり」の現状

○兵庫県のひきこもり対策検討委員会が実施した実態調査

令和2年度に兵庫県のひきこもり対策検討委員会が実施した民生委員・児童委員を対象に行った「ひきこもり実態調査」によると、回答を行った高砂市の民生委員・児童委員102人のうち17人が「受け持ち地域にひきこもり状態にある方がいる」とし、合計で20名の対象者を把握しているとの回答があった。

○令和3年度から福祉部地域福祉課に生活支援相談窓口を設置

4月90件、5月89件の相談(昨年度 年間514件)のうち、ひきこもりが関係する相談は7件あった。この中で若者がひきこもっているケースは4件あった。

2 「ひきこもり」に関する課題

○ひきこもり状態にある方の早期把握

相談窓口の周知、広報

○ひきこもりだけではない複雑化する相談

困窮、虐待、精神疾患などが複雑に絡まりあっている。

3 「ひきこもり」に対する今後の支援について

○家族支援

家族向けの情報交換会や、家族会への参加案内

○居場所づくり

ひきこもり支援サークルの立ち上げ